

令和3年度 事業報告書

あなたの、手となり、
ぬくもりとなり。



救うを託されている。、



活動資金へのご協力を、よろしくお願いいたします。 赤十字運動月間 5.1(土)～31(金)

日本赤十字社
JAPANESE RED CROSS SOCIETY

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人 道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公 平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中 立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独 立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉 仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単 一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

目 次

令和3年度 事業報告

1. 災害救護	頁
(1) 救護活動	1
(2) 救護員育成	1
(3) 救護員の登録・編成状況	3
(4) 救護資機材の整備状況	4
(5) 救援物資の整備状況	4
(6) 防災ボランティアの養成状況	6
(7) 災害義援金の受付状況	6
(8) 防災・減災の取組み	7
(9) 臨時救護	11
2. 救急法等の講習	
(1) 各講習の活動概要	11
(2) 赤十字救急法等指導員養成講習	12
3. 赤十字奉仕団、ボランティア活動	
(1) 活動概要	13
(2) 奉仕団等の編成、人数等	14
(3) 会議、研修、訓練	15
4. 青少年赤十字	
(1) 活動概要	16
(2) 加盟校概要	17
高知県青少年赤十字加盟校一覧マップ	18
(3) 指導者対象の協議会、研修	19
5. 国際活動	
(1) 国際救援・開発協力事業	20
(2) NHK海外たすけあい	20
6. 赤十字思想の普及・広報	
(1) 赤十字月間、イベント	21
(2) DM、広報誌	21
(3) 赤十字思想の普及	21
7. 会員、活動資金	
(1) 会員概要	22
(2) 社資概要	22
(3) 企業等とのパートナーシップ	23
(4) 活動資金目標設定会議	23
(5) 地区分区事務担当者研修会	24
(6) 全国赤十字大会	24
8. 役員、評議員	
(1) 評議員会、有功会の組織	24
9. その他取組み	
(1) アドバイザー会議	26
(2) 支部長表彰式及び日本赤十字社有功章等伝達式	26
10. 決算概要	
(1) 令和3年度一般会計歳入歳出決算概算書	28
11. 資料 令和3年度 地区区分別 活動資金実績 集計表	29

令和3年度 事業報告

1. 災害救護

(1) 救護活動

令和3年度における災害に対しては、高知県支部からの救護班派遣や、高知県支部に災害対策本部を設置する事例はなかった。

令和3年9月17日（金）に県内に局地的な大雨をもたらし、中土佐町・四万十町で床上浸水が発生した「台風14号」において、中土佐町の日赤担当から救援物資の要請があり、支部職員2名が緊急セット7個、毛布16枚を搬送した。（緊急セット7個、毛布5枚を配布）

【救援物資をお届けしました】



(2) 救護員育成

1) 救護・受援体制の確立

災害救護は日本赤十字社の最も重要な事業であり、南海トラフ地震に向けて救護班活動の充実、強化を目標に、管下施設間及び中国四国ブロック、行政等との研修・訓練に取り組んだ。

2) 主な災害救護訓練、研修会

コロナ禍により中止、あるいは集合形式ではなくオンライン形式に変更となる状況が続いている。

① 本社関係

「全国赤十字救護班研修」は中止となったが以下の研修はオンライン形式で開催された。

(ア) こころのケア指導者養成研修会

令和3年11月29日（月）～12月1日（水）被災者等に対して実施する「こころのケア」の要員を養成する指導者の養成研修会に、支部職員1名が参加した。

(イ) 日赤災害医療コーディネートチームフォローアップ研修会

令和4年3月13日（日）日赤災害医療コーディネートチームの活動能力向上及び活動に対する考え方の共通認識を図ることを目的に開催。

高知赤十字病院からコーディネートスタッフである主事1名、支部からオブザーバーとして職員1名が参加した。

② 第5ブロック(中四国)関係

岡山県で開催予定の「第5ブロック災害対策本部要員研修会」は中止となったが、以下の訓練は感染対策に留意し、集合形式で開催した。

(ア) 中国・四国ブロック合同災害救護訓練(開催：香川県)

令和3年11月12日(金)～13日(土)大規模災害発生時に赤十字独自のネットワークを活用して被災地に集合し、迅速かつ適切な医療救護活動を行うことができるよう、第5ブロック各県支部相互支援体制の確立と防災関係機関との連携強化を目的に開催。高知県支部は13日の実動訓練に参加し、高松市四番丁小学校跡施設に避難所が開設され、徳島県支部救護班と協力しつつ避難所での医療救護活動訓練を行い、dERUを設営、運営した。

③ 高知県支部主催関係

「高知・愛媛両県支部合同訓練」は中止となったが、感染対策に留意し、集合形式で以下の訓練等を実施した。

(ア) 日本赤十字社高知県支部災害医療救護訓練

令和3年10月16日(土)～17日(日)これまでの救護活動を踏まえ、災害救護業務を迅速かつ適切に行うため、救護員として必要な知識・技術を習得し、救護活動の円滑な推進を図ることを目的としており、高知赤十字病院を会場に開催した。4階ホールでの座学や駐車場での実動訓練等に、高知赤十字病院及び高知県赤十字血液センターの医師・看護師等の救護員をはじめ講師・スタッフを含め114名が参加した。

【感染対策に留意しつつ訓練を実施しました】



(イ) 救護主事研修

令和3年12月21日(火)救護主事の役割を理解し、十分な知識と技術を持った救護主事の養成を図ることを目的に開催。高知赤十字病院から主事8名、支部職員1名が受講者として参加し、ドラッシュテント開設訓練及び無線通信訓練を行った。

④ 国・県・市町村主催関係

(ア) 高知市総合防災訓練

令和3年10月31日(日)市、各防災機関、自主防災組織等による実践的な災害対応とそれぞれの連携した訓練を実施することにより、総合的な防災体制を確立すること、併せて防災に係る体験や学びを通して、市民の防災意識の醸成を図ることを

目的としており、高知市立泉野小学校で防災に係る体験等を中心に開催したが、天候不良に伴い規模を縮小し、支部から事務局長が参観として参加した。

(イ) 災害医療活動拠点開設訓練

令和3年11月7日(日)南海トラフ地震等の災害時に、地域拠点である土佐清水総合公園において防災活動及び災害医療活動を円滑に実施するため、ドラッシュテントの展開及び物資・資機材の使用方法等について習熟を図ることを目的に開催しており、支部職員1名がドラッシュテントの展開指導に参加した。

(ウ) 高知県災害対策本部事務局等震災対策訓練(図上訓練)

令和3年12月7日(火)南海トラフ地震発生時における災害対策本部事務局等の運営を検証するとともに、関係機関との連携や職員の災害対応能力の向上を図ること等を目的とした訓練であり、支部からは職員2名を県庁にリエゾンとして派遣した想定で参加したほか、支部事務局長が参観として参加した。

以下の訓練等は中止となった。

- ・高知県総合防災訓練及び地域防災フェスティバル
- ・安芸市災害時医療救護活動訓練
- ・航空機事故対応訓練
- ・中土佐町総合防災訓練
- ・高知県震災対策訓練(保健医療調整本部運営訓練)

(3) 救護員の登録・編成状況

1) 赤十字常備救護班

班名	構成組織	班員(人)	職種別班員数(人)				
			医師	看護師長	看護師	薬剤師	主事
第1班	赤十字病院	7	1	1	2	1	2
第2班	赤十字病院	7	1	1	2	1	2
第3班	赤十字病院	7	1	1	2	1	2
第4班	血液センター・病院	7	1	1	2	1	2
第5班	赤十字病院	7	1	1	2	1	2
第6班	赤十字病院	7	1	1	2	1	2
合 計		42	6	6	12	6	12

※その他医療救護に関する指導を目的に特命救護班1名を任命し、医療救護体制の充実を図っています。

2) 災害派遣医療チーム(DMAT)設置状況

チーム数:7チーム(医師1名、看護師2名、業務調整員1名を1チームとして算出)

構成組織	班員(人)	職種別班員数(人)			
		医師	看護師長	看護師	業務調整員
赤十字病院	32	10	5	9	8

※他、支部(2名)、血液センター(1名)にDMAT隊員(業務調整員)が在籍。

(4) 救護資機材の整備状況

1) 支部の主要救護装備

品目		数量	備考
車両		8 台	救急車 1 台、dERU（国内型緊急対応ユニット） 1 台、 災害救援車（赤色灯あり） 1 台、 災害救援車（赤色灯なし） 5 台
通信環境	災害用電話	4 台	高知県防災行政無線 1 台、 衛星携帯電話 1 台、携帯電話 2 台
	業務用無線 150 メガ帯	18 局	基地局 1 局、車載型 8 局、携帯型 9 局 ※令和 3 年度、車載機 2 局を交換
	業務用無線 400 メガ帯	22 局	基地局 1 局、車載型 8 局、携帯型 13 局
	アマチュア無線局	1 局	
テント		18 張	エアーテント 3 張、ドラッシュテント 1 張、 その他 14 張
発電機・投光器		14 台	発電機 5 台、投光器（クリップ式） 6 台、 発電機付大型投光器 2 台、背負い式投光器 1 台
担架		32 本	担架 32 本、その他担架台 39 台
簡易ベッド		38 台	
浄水器		1 組	
自動ラップ式トイレ		12 台	令和 3 年度本社財源により 10 台配備
AED（自動体外式除細動器）		4 台	

2) 救護班活動用食料（令和 3 年度末現在）

品目	数量	備考
災害用備蓄食料 （レスキューフーズ）	192 食	①シチュー：60 食 ②中華丼：72 食 ③牛丼：60 食
非常食	200 食	アルファ米（五目ご飯）：200 食
保存水	414L	①500mL×24 本×12 箱 ②1.5L×10 本×18 箱

(5) 救援物資の整備状況

1) 救援物資の備蓄状況（令和 3 年度末現在）

品目	在庫数	品目	在庫数
毛布	2,363 枚	タオルケット	800 枚
緊急セット	1,164 個	バスタオル	353 枚
安眠セット	504 個		



【 毛布 】



【 緊急セット 】

2) 県内の災害被災者への救援、支援について

住家火災等によって被災された 39 世帯 91 名の方に、毛布 77 枚、緊急セット 40 個、バスタオル 63 枚の災害救援物資をお届けした。

○地区別救援物資配布状況 [火災等による救援物資の配布]

	件数	人数	毛布	緊急セット	タオル	災害区分
高知市	5	22	18	7	14	火災
室戸市	1	2	2	1	2	火災
香美市	1	1	2	1	1	火災
南国市	4	7	7	4	7	火災
四万十市	1	5	5	2	5	火災
宿毛市	8	16	16	8	16	火災
土佐清水市	2	3	3	2	3	火災
田野町	1	2	2	0	0	火災
安田町	1	1	1	0	2	火災
土佐町	1	1	1	1	1	火災
いの町	1	4	4	1	4	火災
佐川町	1	2	2	1	2	火災
仁淀川町	1	1	1	1	1	火災
中土佐町	7	16	5	7	0	水害
津野町	2	3	3	2	0	火災
四万十町	2	5	5	2	5	火災
合 計	39	91	77	40	63	

○災害弔慰金の交付

- ・災害等で亡くなられた方のご遺族に弔慰金 3 件 30,000 円をお届けした。
- ・火災 3 件

(6) 防災ボランティアの養成状況

現在、67 名の防災ボランティアが在籍している。防災ボランティアの育成として、協定締結地域において養成した救急法救急員に研修を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。

(7) 災害義援金の受付状況

国内災害義援金や海外援金の発生都度、支部ホームページに掲載や各地区・分区に通知し、広く県民に広報するとともに協力を受け付けている。

【令和 3 年度 支部受付国内災害義援金】

No.	名称	支部受付分		支部受付累計		受付期間
		件数	金 額	累計 件数	累計金額	
1	H30 年 7 月 豪雨災害(県外)	3	252,300	20	994,150	H30 年 7 月 10 日 ～R4 年 6 月 30 日
2	R2 年 7 月豪雨災害	0	0	32	10,045,296	R2 年 7 月 7 日～ R4 年 9 月 30 日
3	R3 年 8 月大雨災害	3	90,805	3	90,805	R3 年 8 月 23 日～ R4 年 3 月 31 日
4	R4 年 3 月 福島県沖地震災害	1	3,950	1	3,950	R4 年 3 月 23 日～ R4 年 6 月 30 日

【令和 3 年度 支部受付海外救援金】

No.	名称	支部受付分		支部受付累計		受付期間
		件数	金 額	累計 件数	累計金額	
1	中東人道危機救援金	1	500,000	3	510,200	H27 年 4 月 1 日～ R5 年 3 月 31 日
2	バングラデシュ南部 避難民救援金	1	500,000	2	510,000	H29 年 9 月 22 日～ R5 年 3 月 31 日
3	トンガ大洋州噴火津 波救援金	2	11,000	2	11,000	R4 年 1 月 26 日～ R4 年 3 月 31 日
4	ウクライナ人道危機 救援金	32	740,953	32	740,953	R4 年 3 月 2 日～ R4 年 9 月 30 日

(8) 防災・減災の取組み

1) 防災セミナー等の開催

災害に備え、自助、共助のための知識を身につけてもらうことを目的に開催しており、令和3年度は日赤地域奉仕団からの依頼により赤十字奉仕団員、社協職員、役場職員を対象に「赤十字防災セミナー」を開催した。

令和3年度 赤十字防災セミナー（災害への備え）開催状況

開催日	開催地域	主催者	参加者数	支部職員	防災奉仕団
R3. 10. 21	馬路村	馬路村赤十字奉仕団	16 名	1	0
R3. 10. 25	本山町	日赤奉仕団中央東地区	20 名	2	0
R3. 11. 9	土佐市	日赤奉仕団中央西地区	42 名	2	0

なお、中土佐町（日赤奉仕団高幡地区）、香美市（香美市赤十字奉仕団）においても開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。また、避難所運営ゲーム（HUG）については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から実施を見合わせている。

2) 高知県内の市町村・社協との協定の締結

平成27年度から、高知県内の市町村・社協と包括的な連携・協力のもと人道的な活動を展開し、市民の安心・安全及び福祉の向上に資するため業務提携に関する協定を締結している。

日赤の知識と技術を取得した人材を地域で養成すること等により、当該人材の地域活動を通じた地域の防災・減災対策の普及や、奉仕団等との連携による迅速な災害救護活動の遂行に向けた積極的な取り組み、救急法等の一次救命処置の実践等により、地域住民の安心・安全のための活動が進むことが期待されている。

令和3年度はコロナ禍により新たな地域との協定締結に向けた話し合いには至っていない。

① 協定先地図一覧



※現時点での協定締結先

H27. 11. 24	安芸市社会福祉協議会
H28. 5. 11	南国市・南国市社会福祉協議会
H29. 2. 17	中土佐町・中土佐町社会福祉協議会
H29. 5. 30	四万十市・四万十市社会福祉協議会
H29. 8. 8	土佐清水市・土佐清水市社会福祉協議会
H30. 10. 23	仁淀川町・仁淀川町社会福祉協議会
H30. 10. 25	室戸市・室戸市社会福祉協議会
H30. 10. 31	馬路村・馬路村社会福祉協議会
H30. 10. 31	北川村・北川村社会福祉協議会
H31. 4. 4	香南市・香南市社会福祉協議会
H31. 4. 26	黒潮町・黒潮町社会福祉協議会
R2. 10. 2	土佐市・土佐市社会福祉協議会

② 協定締結団体との取り組み

協定締結地域における市町村及び社協職員、地域住民を対象とした救急員等の養成講習は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかったが、支部主催の赤十字救急法指導員養成講習に四万十市社協職員 2 名、馬路村社協職員 2 名が参加、検定に合格され、協定締結地域から新たな赤十字救急法指導員が誕生した。

また、安芸市災害ボランティアセンター運営委員会、土佐清水市災害時クロノロ研修に支部から職員を派遣した。

なお、「NPO法人日本防災士会高知」とは令和 3 年度は防災行事等で協働することができなかった。

高知県内の協定締結団体との取り組み

	団体名称（市町村・社協）		締結日	令和 3 年度の取り組み	
1	安芸市社会福祉協議会		H27.11.24	安芸市災害ボランティアセンター 第 1 回運営委員会	R3.8.23
				運営委員（社協職員、赤十字奉仕団員ほか）、 オブザーバー（安芸市職員ほか） 20 名	
2	四万十市	四万十市社会福祉協議会	H29.5.30	令和 3 年度赤十字救急法指導員養成講習 社協職員 2 名	
3	土佐清水市	土佐清水市社会福祉協議会	H29.8.8	災害時クロノロ研修会 土佐清水市職員 7 名	R3.10.5
4	馬路村	馬路村社会福祉協議会	H30.10.31	赤十字防災セミナー（災害への備え） 社協職員、役場職員、赤十字奉仕団員 16 名 令和 3 年度赤十字救急法指導員養成講習 社協職員 2 名	R3.10.21

5	土佐市	土佐市社会福祉協議会	R2.10.2	赤十字防災セミナー（災害への備え）	R3.11.9
				社協職員、役場職員、赤十字奉仕団員	42名

	団体名称	締結日	令和3年度の取り組み
1	NPO 日本防災士会高知	H28.6.1	

高知県内の協定締結団体における赤十字救急法救急員・指導員等の養成状況					
	団体名称（市町村・社協）		締結日	地域における救急員・指導員等の養成状況	
1	安芸市社会福祉協議会		H27.11.24	救急法指導員	5名
				救 急 員	13名
2	中土佐町	中土佐町社会福祉協議会	H29.2.17	救 急 員	93名
				幼児安全法支援員	5名
3	四万十市	四万十市社会福祉協議会	H29.5.30	救急法指導員（R3年度）	2名
				救 急 員	34名
4	土佐清水市	土佐清水市社会福祉協議会	H29.8.8	救 急 員	75名
5	馬路村	馬路村社会福祉協議会	H30.10.31	救急法指導員（R3年度2名含む）	5名
				救 急 員	16名

(9) 臨時救護

県民の皆様が多数参加される行事等に看護師等を派遣し、救護活動を行った。

令和3年度の実績は次のとおり。

日 時	内 容	日 時	内 容
4/2 (金)	護国神社春季大祭	5/22 (土) 23 (日)	高知県高等学校体育大会【登山の部】
10/10 (日)	郵政 150 周年記念イベント	10/16(土)	フィリピン戦域戦没者慰霊祭
11/2(火)	護国神社秋季大祭	11/7(日)	日高村フォトラリー

○常設医薬品の設置

航空機や空港施設を利用される方などの「もしもに備えて」高知龍馬空港の総合案内に救急箱を設置している。

2. 救急法等の講習

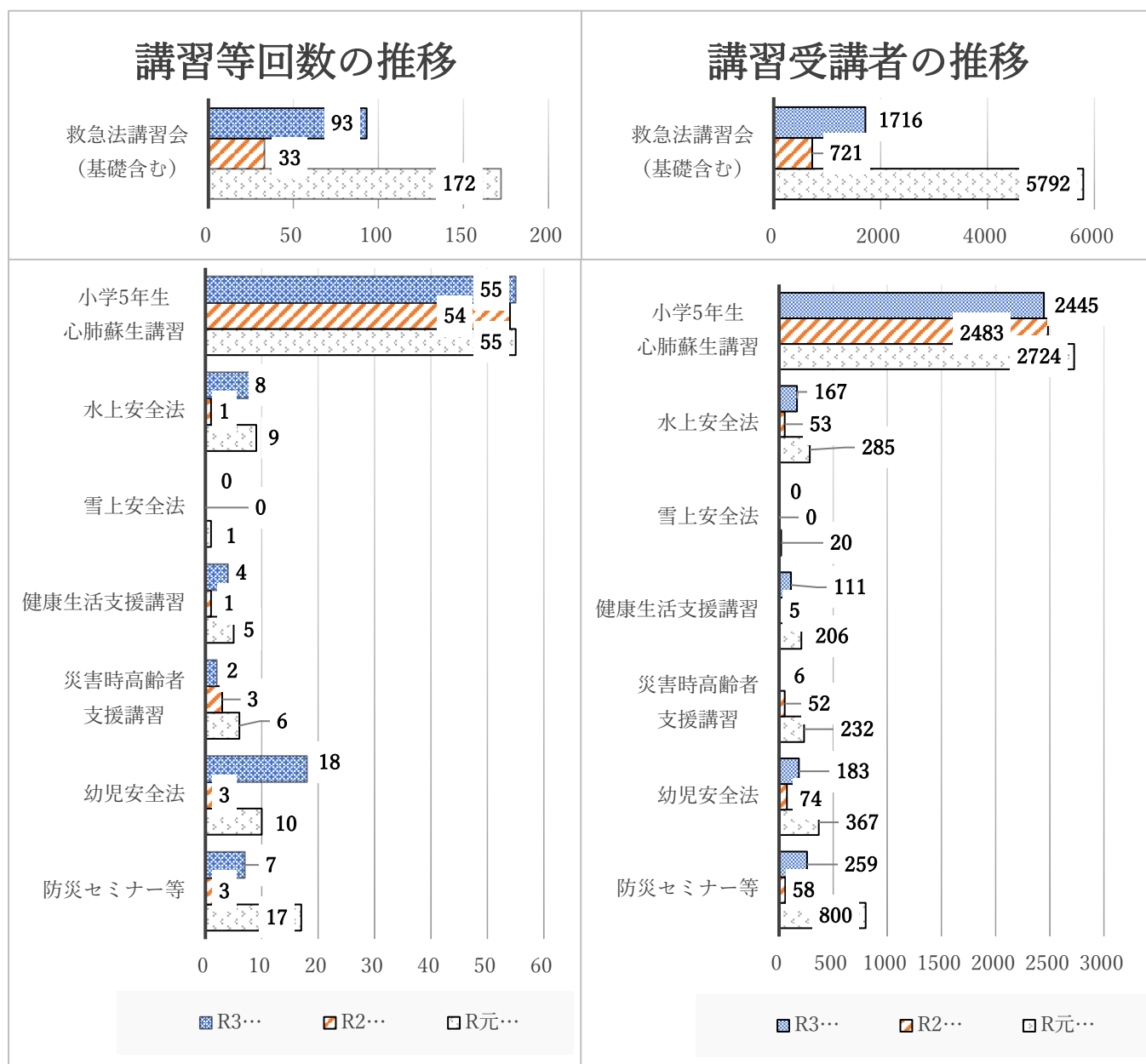
(1) 各講習の活動概要

災害や日々の事故に備え、安全で健康な生活を営む方法や尊い人命を救助する知識と技術を普及するため、救急法・水上安全法・雪上安全法・健康生活支援講習・幼児安全法（養成及び短期講習）や防災講習会を県内各地で実施した。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び受講者、指導員の安全確保の観点から、令和3年6月1日より実施要件を定め、感染対策を十分に講じ、赤十字救急法基礎講習については、接触、接近の機会を減らすために訓練用人形を活用するなど感染防止対策を徹底しつつ、これまでの講習内容と大きな差異が生じないように配慮した「暫定措置」において講習の一部を実施した。また、受講者が限定された職域、団体についても感染状況に留意しつつ、他の養成講習も実施した。

また、高知市教育委員会からの委託事業として、高知市内の全小学校5年生を対象に心肺蘇生講習を実施した。

(講習等回数)				(受講者数)		
R3 年度	R2 年度	R 元年度		R3 年度	R2 年度	R 元年度
93	33	172	救急法講習会（基礎含む）	1,716	721	5,792
55	54	55	小学5年生心肺蘇生講習	2,445	2,483	2,724
8	1	9	水上安全法	167	53	285
0	0	1	雪上安全法	0	0	20
4	1	5	健康生活支援講習	111	5	206
2	3	6	災害時高齢者支援講習	6	52	232
18	3	10	幼児安全法	183	74	367
7	3	17	防災講習会	259	58	800
187	98	275	合 計	4,887	3,446	10,426



(2) 赤十字救急法等指導員養成講習

新型コロナウイルス感染症対策として、対象を赤十字職員、救急員養成講習の開催実績がある協定締結地域の社協職員、警察関係者に限定し、赤十字救急法指導員養成講習を開催した。

受講者11名で実施していたが、新型コロナウイルス感染症の県内感染状況により途中で日程を延期せざるを得なくなり、1名が参加できなくなった。最終の検定まで受講した10名は全員合格し、今後、県内における赤十字救急法講習普及への積極的な参加が期待されている。

3. 赤十字奉仕団、ボランティア活動

(1) 活動概要

1) 地域奉仕団

① 活動資金募集

新型コロナ禍の中、5月の赤十字月間に限らず、各市町村の新型コロナウイルス感染症の状況に応じて時期を変えて奉仕団員が地域内の家庭や企業等を訪問するなど、赤十字活動への理解と赤十字の活動資金の増強に向けて取り組んだ。

② 献血活動

献血の推進を図るため、高知県支部では、奉仕団県支部委員会を通じて、献血推進に取り組むこととし、

- ・各地の献血会場で奉仕団員が献血の呼びかけ等の実施。
- ・JRC活動の推進の中で教育関係者に献血の大切さなどを理解していただく。
- ・地域での奉仕団研修に献血推進の研修の場を持つ。

県内各地での活動資金目標額設定会議等を通じて献血推進への協力を呼び掛けた。



献血推進キャラクター
「けんけつちゃん」

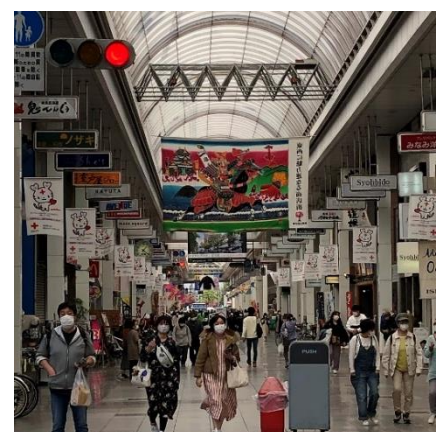
③ そのほかの各地域奉仕団の活動

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の流行により活動内容が制限されるなか、感染対策に留意しながら地域ニーズに沿って、地域の敬老会や配食サービスの補助など高齢者福祉や地域づくりの活動、避難訓練の実施や防災に関する研修会の開催などの防災・減災力を高める活動等を行った。また、芸西村および北川村分区などでは、本社作成の小冊子「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」を用いて、地域の幼稚園児からご年配の方へ読み聞かせを行い、衛生物品を寄贈するなどの活動も行った。

また、今年も高知市赤十字奉仕団が5月の赤十字運動月間中、高知市の帯屋町商店街アーケードにおいてハートちゃんの垂れ幕を掲げ月間のPRを実施した。

2) 特殊赤十字奉仕団

新型コロナウイルス感染症を鑑み、赤十字特殊奉仕団総会は文書にて令和3年度の活動報告及び令和4年度の活動予定について協議を行い、併せて各団の活動実績をご報告いただいた。



3) 青年奉仕団

社会人・高知工科大学メンバー9名と、高知大学の学生赤十字奉仕団（以下「学奉」という。）メンバー3名で活動している。活動内容としては支部主催行事への協力など下記のとおり。

また、メンバー募集や活動情報発信の手段としてTwitterを活用している。

活動については次のとおり。

日 時	活動名	内容
6/6（日） オンライン開催	第5ブロック青年赤十字奉仕団連絡協議会	各県青年赤十字奉仕団メンバーと、各団の活動紹介や今後の活動の方向性について意見の交流を実施。令和3年度は高知県が開催担当県となり、オンラインで行った。
9/20（月） オンライン開催	第5ブロック青年赤十字奉仕団研修会	今後の活動に活かせる知識と技術を習得し、団員の資質の向上を図ることを目的とする。令和3年度は各県の活動紹介、赤十字についての講和、災害図上訓練、1日前プロジェクトなど防災を行い、赤十字や防災についての意識を高めた。
3/2（水） オンライン開催	第5ブロック青年赤十字奉仕団連絡協議会 WEB 会議	令和4年度青年赤十字奉仕団全国協議会に向けて第5ブロック内で協議事項等の意見共有を行った。

(2) 奉仕団等の編成、人数等

○奉仕団結成状況（令和4年3月末日時点）		
種 別	団 数	団 員 数
地 域 奉 仕 団	31	4,185名
特 殊 奉 仕 団	12	265名
青 年 奉 仕 団	2	12名
合 計	45	4,462名



(3) 会議、研修、訓練

昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の流行により、会議・研修会は中止またはオンライン開催で行われた。オンラインで開催された全国的な会議・研修会については積極的に参加を行った。年度後半からは県内全域を対象とした研修会は中止としたものの、感染症対策に留意しながら接触の少ない会議及び地域ごとの研修会や避難訓練は徐々に再開した。

令和3年度の主な会議、研修会の開催状況は以下のとおり。

【会議】

開催日	名称	内容
5/28(金)	赤十字奉仕団中央委員会	オンライン開催、全国の活動状況の共有
中止	赤十字奉仕団高知県支部委員会役員会、 高知県赤十字奉仕団活動推進協議会役員会	コロナのため中止
1/13(木)	赤十字奉仕団高知県支部委員会役員会、 高知県赤十字奉仕団活動推進協議会役員会	当該年度の活動の総括及び次年度活動方針の協議（総会で決議）
3/15(火)	赤十字奉仕団高知県支部委員会、 高知県赤十字奉仕団活動推進協議会総会	当該年度の活動の総括及び次年度活動方針の決定

【研修会】

開催日	名称	内容
12/2(木)	高知県赤十字奉仕団活動推進協議会主催研修会（交流会）	オンライン開催。コロナ禍での各地区分区の現状等の発表および情報共有。奉仕団等 29 名、事務局担当者 15 名が出席。
10/28、29 (木)(金)	赤十字ボランティアリーダー研修会	オンライン開催。基礎研修会受講済みの奉仕団を対象としたリーダー研修会、地域奉 1 名が出席
11/11(木)	中国・四国ブロック赤十字奉仕団研修会	オンライン開催。奉仕団を対象とした基礎研修会、地域奉 3 名が出席
3/19-21 (土)-(月)	赤十字奉仕団支部指導講師研修会	1 月開催より延期。指導講師に関する研修会。指導講師候補者 1 名受講予定。



【12/2(木)オンライン開催での交流会において、各地区分区での現況を共有することができた。】

4. 青少年赤十字

(1) 活動概要

○県全体の活動

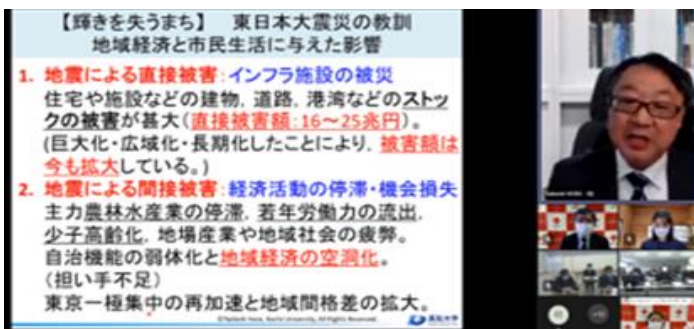
日 時	事業名	内 容
11/27 (土)	高知県青少年赤十字高等学校連合会総会	県内 JRC 加盟高等学校 2 校（土佐高校・土佐女子高校）と、未加盟校 2 校（大方高校・中村高校）から合計 24 名が参加。オンラインでの実施となった。開催内容は以下のとおり。本会終了後、大方高校が新たに加盟校となった。 ○アイスブレイク ○各学校における取組み紹介・意見交換 ○青少年赤十字 100 周年について ○令和 3 年度役員選出
1/29 (土)	高知県青少年赤十字研究大会	県内 JRC 加盟高等学校 3 校（土佐高校・土佐女子高校・明德義塾高等学校）と、未加盟校 2 校（佐賀中学校・宿毛高校）から合計 39 名が参加。オンラインでの実施となった。開催内容は以下のとおり。 ○防災についての活動発表 ○講演（高知大学 原教授）
開催中止	高知リーダーシップ・トレーニングセンター	県内 JRC 加盟校が参加し、楽しい雰囲気の中、アイスブレイキングや貿易ゲーム、フィールドワークなどを実施し、「気づき、考え、実行する」という主体性を身に付けられるよう取り組む。令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催中止となる。

○本社主催事業への参加

日 時	事業名	内 容
12/25 (土) 12/26 (日)	青少年赤十字スタディー・プログラム	高等学校の青少年赤十字活動の中心となるリーダーを養成することを目的として、例年開催されている青少年赤十字スタディー・プログラムの代替事業として実施された。県内 JRC 加盟高等学校のうち 2 校から、JRC メンバー 11 名と指導者 1 名が参加。全国各地の青少年赤十字メンバーの高校生とオンラインで交流した。



【高知県青少年赤十字研究大会の様子】



【青少年赤十字スタディー・プログラムの様子】

(2) 加盟校概要

○青少年赤十字への加盟状況 (単位：校)

※ 加盟校一覧マップ次頁

	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
高等学校	20	18	22	20	21
中学校	28	26	29	27	26
小学校	65	63	67	47	59
幼・保	9	9	9	5	7
特別支援	12	12	12	11	11
合 計	134	128	139	110	124

○各校の活動(抜粋)

JRC加盟校には支部職員や安全奉仕団指導員を講師として派遣し、感染対策に留意しつつ様々な活動が行われた。

救急法	心肺蘇生法やAEDの使い方を学ぶ講習を実技・座学を交えて実施した。
水上安全法講習	水の事故からいのちを守る対処法などについての座学を実施した。
防災学習	東日本大震災、熊本地震、豪雨災害での日本赤十字社の救護活動等について伝えるとともに、南海トラフ地震等の災害に備える知識を身につける座学を実施。
平和学習	国際人道法普及などを目的として、世界の紛争地域の子どもたちが少年兵や地雷被害などで苦しんでいる現状への理解を深める講習を実施した。
新型コロナウイルスについての学習	「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」を用いた講習を実施。新型コロナウイルスがもつ「病気」「不安」「差別」という3つの顔について理解し、更なる感染を防ぐために一人ひとりができることについて、現状を交えて講習を行った。

○青少年赤十字加盟校で行った各種講習会等 (単位：回)

	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
救急法	80	88	99	55	74
水上安全法	17	20	19	3	9
雪上安全法	2	2	1	0	0
幼児安全法	9	7	6	0	3
防災学習	17	24	27	13	8
平和学習	4	2	6	4	1
新型コロナウイルスについての学習	—	—	—	4	2
登録式など	4	4	2	0	0
合 計	133	147	160	79	97

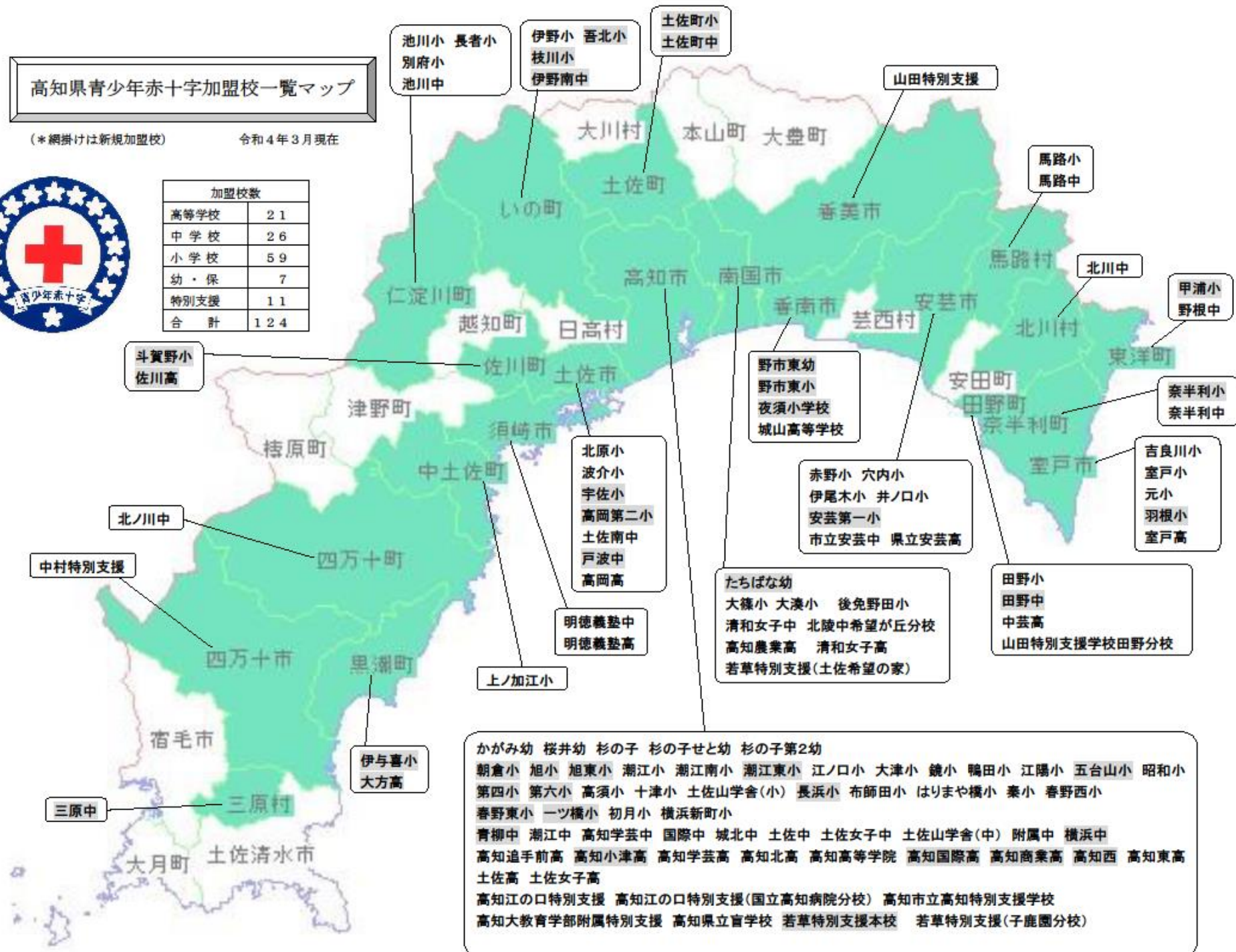
高知県青少年赤十字加盟校一覧マップ

(*網掛けは新規加盟校)

令和4年3月現在



加盟校数	
高等学校	21
中学校	26
小学校	59
幼・保	7
特別支援	11
合計	124



(3) 指導者対象の協議会、研修

○高知県青少年赤十字指導者協議会および高知県青少年赤十字賛助奉仕団の活動は以下のとおり。

日時	講習会・研修会名	内容
6/5 (土)	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	青少年赤十字加盟校の指導者1名がオンラインで参加。青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターの指導者を養成することと、現在、青少年赤十字で取り組んでいるプログラムについて説明し、一層の普及を図ることを目的として開催された。
6/29 (火)	青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	オンラインにて開催。指導者協議会長が出席。年に一度、各都道府県の指導者協議会長が一堂に会し、青少年赤十字活動の普及について意見を交換。賛助奉仕団委員長もオブザーバーとして参加した。
7/17 (土)	全国青少年赤十字賛助奉仕団総会	オンラインにて開催。賛助奉仕団委員長が出席。年に一度、各都道府県の賛助奉仕団委員長が一堂に会し、指導者協議会との連携や赤十字思想の普及と防災教育の充実などについて意見を交換した。
7/31 (土)	高知県青少年赤十字指導者講習会	学校教育の中で青少年赤十字をどのように活用するか、青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターの手法を用いて具体的な活動の指導方法等を習得することを目的として実施した。 JRC 加盟校より指導者 16 名が参加。
9/30 (木)	青少年赤十字研究会	高知県教育委員会小中学校課から1名がオンラインで参加。青少年赤十字を的確に理解し、現在の学校教育における青少年赤十字の現状と成果について認識するため、講演の聴講やグループワークを行った。
10/22 (金)	第5ブロック各県青少年赤十字指導者協議会長ならびに事務担当者会議	本県支部が開催担当県としてオンラインにて開催した。指導者協議会長および支部職員3名が出席。 第5ブロックにおける青少年赤十字の普及と充実強化を図るため、各県から提出された青少年赤十字に関する議題について意見交換を行った。
文書審議	高知県青少年赤十字指導者協議会及び青少年赤十字賛助奉仕団総会	新型コロナウイルス感染症のため、文書審議で開催した。 内容は以下のとおり。 ○役員改選 ○令和2年度青少年赤十字活動実績報告 ○令和3年度青少年赤十字事業計画 ※各役員については下記表のとおり
文書審議	中国・四国ブロック青少年赤十字賛助奉仕団連絡協議会・研修会	文書審議にて開催。 中国・四国ブロックの各県における活動や課題について協議を行った。

○令和３年度 指導者協議会 役員

会 長	高知市立潮江小学校 校長 藤川 尚司
副会長	高知県立高知江の口特別支援学校 教諭 波多野 拓有
〃	高知市立潮江南小学校 教諭 山崎 功一

○令和３年度 賛助奉仕団 役員

委員長	池田 敏雄
副委員長	井脇 伸往
〃	安藤 厚子

5. 国際活動

(1) 国際救援・開発協力事業

中国・四国９県の赤十字支部の国際救援活動として、「アジア・大洋州給水・衛生キット事業」に 700 万円の資金援助を行い高知県支部から 5 4 6 , 9 4 3 円を拠出。

(2) NHK海外たすけあい

世界各地で多発する大規模災害や紛争に伴う緊急救援や開発途上国や災害常襲地への開発協力などを実施するための 12 月にNHKの協力のもと「第 39 回海外たすけあい寄付金募集」キャンペーンを行い、以下の協力を受け付けた。

○ 募集実績額

	取扱件数	実 績 額
高知県支部受付分	9 0 2 件	2 , 8 8 5 , 2 6 1 円
全国受付分 (高知県支部を含む)	8 3 , 3 7 9 件	7 2 0 , 8 8 2 , 1 4 9 円

6. 赤十字思想の普及・広報

赤十字の活動への理解を深めるため、広報紙の発行やホームページによる広報活動をはじめ、県内各地で開催される赤十字講習会等を通じて、「県民の目に見える活動」の推進に取り組んだ。

(1) 赤十字月間、イベント

例年赤十字月間に合わせて開催している赤十字運動月間啓発パレードは新型コロナウイルス感染症の流行により中止となった。

運動月間中は本社の支援を受け、テレビCMによる広報を拡大したほか、例年通り各市町村でのポスター掲示、チラシの各戸配布などによる広報を行った。

また、赤十字運動月間の5月に高知城下の高知県庁、高知市役所前のお堀沿いに啓発用の登旗を1カ月間設置した。



(2) DM、広報誌

DMは対象別に年3回、約6,400通の発送を行った。

1度目は従来の協力者に引き続きの協力を依頼するため、5月の赤十字運動月間を中心に各地区・分区の協力を得ながら約3,600通を発送した。2度目は新規協力者の獲得を目的とし、9月に義援金や海外たすけあいなど赤十字を通じた寄付の経験者を主な対象として約1,400通を発送した。3度目は本社から提供された法人データを活用し新規協力者を募ること、年度内にDMを送付したものの協力を得られなかった過去の協力者に再度寄付を依頼することを目的として、約1,400通の発送を行った。

支部広報紙「ふれあい」は4月に26,200部、10月に15,700部を作成し地区・分区を通じて地域住民に配布したほか、赤十字会員、講習会の参加者や管内施設利用者などに配布した。

また、会員への定期的かつ積極的な情報提供強化のため、令和2年12月から本社が作成する全国統一会員誌の活用を開始しており、令和3年度も7月と12月に同会員誌による情報提供を県内会員に対し行った。

(3) 赤十字思想の普及

令和3年4月から本社WEBサイトと統一デザインの新規WEBサイトの運用を開始した。県内の赤十字活動に関する投稿の他、国内外における災害時の速報等全国的な赤十字活動を支部WEBサイトに掲載することで、事業を通じ閲覧者の赤十字思想への理解が深まることを目指している。

7. 会員、活動資金

(1) 会員概要

○ 令和3年度赤十字会員数 (各地区区分からの報告数)

	個 人	法 人	合 計
平成29年度 (年度末実績)	837	1,010	1,889
平成30年度 (年度末実績)	1,720	972	2,692
令和元年度 (年度末実績)	1,751	724	2,475
令和2年度 (年度末実績)	1,385	692	2,077
令和3年度 (年度末実績)	1,122	602	1,724

(2) 社資概要

1) 活動資金募集

昨年度との比較では、活動資金の合計が2年度の実績額9,162万円程に対して、3年度実績額は8,676万円程と486万円程の減額となり総じて厳しい状況にある。

要因は様々だが、コロナウイルス感染症の影響とともに、募集に携わってきていただいた方の高齢化などが大きな課題となっている。

個人・法人別では、個人からの活動資金は、2年度の実績額7,433万円程に対して、3年度実績額は6,876万円程と557万円程の減額となり、一方、法人からの活動資金は、2年度の実績額1,728万円程に対して、3年度実績額は1,800万円程と合計では72万円程増加した。

○ 令和3年度活動資金実績

	個人	法人	合計
平成29年度	74,764,339円	14,761,016円	89,525,355円
平成30年度	69,918,106円	18,038,679円	87,956,785円
令和元年度	71,042,088円	28,736,250円	99,778,338円
令和2年度	74,339,902円	17,284,794円	91,624,696円
令和3年度	68,798,749円	17,967,886円	86,766,635円

(※ 地区区分別の実績はP29)

(※ 指定、高額寄付を含む)

(3) 企業等とのパートナーシップ

1) 赤十字サポーター制度

「人のいのちと健康、尊厳を守る」活動を共に推進してくださる企業・団体のサポーターを求めて、また、赤十字と企業・団体の間における、社会貢献のためのパートナーシップを図ることを目的とし、活動資金の増額も含めて赤十字サポーター事業を推進している。

令和3年度は、新たに四国開発株式会社に参加していただいた。

現在登録の法人、個人は以下のとおりである。

○ 赤十字サポーター 認定企業・団体・病院・個人一覧

R4/4/1 現在

	企業・団体名	代表者	
		職	氏 名
1	株式会社 四国銀行	取締役頭取	山元 文明
2	株式会社 高知銀行	取締役頭取	海治 勝彦
3	高知スタンダード石油株式会社	代表取締役	手嶋 邦彦
4	株式会社 垣内	代表取締役社長	安岡 和彦
5	高知空港ビル株式会社	代表取締役社長	岩城 孝章
6	医療法人尚志会 愛幸病院	理事長	西原 東香
7	株式会社 高知丸高	代表取締役社長	高野 一郎
8	一般社団法人 高知県建設業協会		
9	株式会社 轟組	代表取締役社長	吉村 文次
10	サンピア セリーズ	代表取締役社長	吉村 文次
11	株式会社ビル環境衛生管理	代表取締役社長	細田 覚
12	須工ときわ株式会社	代表取締役	國藤 浩史
13	株式会社土居建設	代表取締役	土居 三平
14	株式会社ニッサン・コンサルティング	代表取締役	西口 昌宏
15	高知中央電気工事業協同組合	理事	吉村 保利
16	公益社団法人 高知県薬剤師会	会長	西森 康夫
17	一般社団法人 高知県歯科医師会	会長	野村 和男
18	公益社団法人 高知県看護協会	会長	藤原 房子
19	四国開発株式会社	代表取締役	久米 慶典
個人	戸梶 恵子	松本 啓司	西口 昌宏

(4) 活動資金目標額設定会議

新型コロナウイルス感染症が流行していたことから、県全体の目標額設定会議は文書開催となったものの、区分別の目標額設定会議は16地区中8地区が参集型で開催された。

参集型で開催された地区の目標額設定会議には支部職員も出席し、目標額の設定だけでなく、募集協力者に対し赤十字活動の報告及び活動資金への引き続きの協力依頼をおこなった。

なお、参集による会議開催を行わなかった8地区においても文書により目標額の審議を行ったことから、令和3年度もすべての地区・分区の同意に基づき県内の目標額を設定した。

(5) 地区分区事務担当者研修会

新型コロナウイルス感染症の流行により参集型での開催が難しかったことから、Microsoft Teams による WEB 会議として令和 3 年 8 月 3 日及び 6 日に本研修会を開催し、20 市町村 25 名の赤十字担当者が参加した。

研修会では新型コロナウイルス感染症流行下で事業実施が難しい中でも各地区分区において地域のニーズに沿った赤十字活動が展開できるよう、主に新任の地区分区担当者を対象に、赤十字のしくみと活動や県内における事業、地区分区交付金の活用事例などの基本的な知識や事務取扱方法を伝達した。

(6) 全国赤十字大会

令和 3 年度の全国赤十字大会は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。

8. 役員、評議員 評議員会、有功会の組織、総会等

(1) 評議員会

- ・第一回評議員会は、令和 2 年度の事業報告と決算について、新型コロナウイルス感染症の影響で文書審議に変更され全議案について、令和 3 年 6 月 30 日に承認された。
- ・第二回評議員会についても、令和 4 年度の事業計画（案）と歳入歳出決算（案）について、新型コロナウイルス感染症の影響で文書審議に変更され全議案について、令和 4 年 2 月 10 日に承認された。

(2) 高知県赤十字有功会

1) 有功会総会

- ・令和 3 年 6 月 22 日（火）に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止することとなり、特例として、理事会文書審議において承認を得、令和 3 年 7 月 1 日、その旨を文書報告させていただいた。

2) 全国赤十字紺綬有功会長総会

- ・群馬県で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で文書審議となり、全議案について承認された。

3) 有功会理事会

- ・令和 4 年 3 月 25 日（金）、総合あんしんセンター 3 階中会議室で開催し、令和 4 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について承認された。

4) 支援事業

支援対象	支援内容
高知県支部事務局	①非接触型体温計 1台 ②非接触型体温計スタンド型 1台 ③デジタルカメラ 1台 ④SD カード 32GB 1枚 ⑤レーザーポインター 1台 ⑥液体アルコール詰替用 1本 ⑦青少年赤十字事業活動助成 ⑧クリアファイル 3,000 枚 (青少年赤十字 100 周年記念)
高知赤十字病院	⑨非接触体温計 13 台
高知県赤十字血液センター	⑩卓上カレンダー 1,000 冊



①非接触型体温計



②非接触型体温計スタンド型



③デジタルカメラ



④SD カード 32GB



⑤レーザーポインター



⑥液体アルコール詰替用



⑨非接触体温計 13 台



⑩卓上カレンダー

9. その他取組み

(1) アドバイザー会議

令和3年5月27日、高知県支部多目的室にて、支部を取り巻く環境の変化によりよく対応するため、取り組むべき方向性や課題等について検討がなされた。

【第2回（令和4年1月24日）は、新型コロナウイルス感染症拡大により中止となる】

(2) 日本赤十字社有功章等伝達式及び支部長表彰式

令和3年10月11日、総合あんしんセンターにて、赤十字事業の進展に多大の貢献をされた方々を対象に伝達式及び表彰式を行い、濱田支部長から表彰が授与された。

表彰者等については、以下のとおり。

○日本赤十字社の活動資金・献血功労にかかる表彰制度および令和3年度表彰者数

表彰区分	表彰基準	表彰品等	表彰者数
金色有功章	活動資金および寄付金品が一時又は累計で50万円以上に達した個人・法人	個人：金色有功章・章記 法人：金色有功章（楯式）	個人 2名 法人 5社
	献血回数100回以上の方	金色有功章（ガラス盃）	29名
銀色有功章	活動資金および寄付金品が一時又は累計で20万円以上に達した個人・法人	銀色有功章（楯式）	個人 2名 法人 26社
	献血回数70回以上の方	銀色有功章（ガラス盃）	44名
社長感謝状	金色有功章受章後さらに50万円以上に達した都度個人・法人	社長感謝状	法人 2社
支部長感謝状	活動資金が一時又は累計で10万円以上に達した個人・法人	支部長感謝状	個人 7名 法人 24社

1) 日本赤十字社有功章等伝達式

令和3年度 金色有功章及び社長感謝状受章者（敬称略）

	表彰区分	区分	受章者名	住所
1	社長感謝状	法人	株式会社 四国銀行	780-0833 高知市南はりやま町1丁目1-1
2	社長感謝状	法人	株式会社 ニッサン・コンサルティング	780-0843 高知市廿代町14-11
3	金色有功章	個人	岡 俊助	高知市
4	金色有功章	個人	浜口 伸正	高知市
5	金色有功章	法人	一般社団法人 高知県建設業協会	780-0870 高知市本町4丁目2-15
6	金色有功章	法人	はつほ商事 有限会社	780-0981 高知市一ツ橋町2-77
7	金色有功章	法人	白木谷石灰石運送 株式会社	781-8130 高知市一宮2726
8	金色有功章	法人	株式会社 田辺豊建設	787-0019 四万十市具同2411
9	金色有功章	法人	有限会社 永野設備	781-0013 高知市薊野中町24-13

2) 支部長表彰

① 活動資金募集奉仕勤続 10 年以上の個人（表彰状贈呈）

高知市地区 1 1 名、安芸市 2 名、南国市地区 1 名、香南市 5 名、

馬路村分区 2 名、安田町分区 1 名、奈半利町分区 1 名

以上 2 3 名

② 令和 3 年度活動資金目標達成率 120%以上の地区分区（表彰状贈呈）

（地区）安芸市地区 以上、1 地区

（分区）高知市（上街、江ノ口、北街、布師田、鏡）室戸市（吉良川）安芸市（安芸、穴内、井ノ口、土居、江川、内原野、伊尾木、下山、畑山、栃ノ木）香南市（香我美町）南国市（上倉北部、上倉南部、岡豊、長岡東部、岩村、稻生、後免）安芸（田野町、馬路村）中央東（大川村）
以上、2 7 分区

③ 令和 3 年度 活動資金目標達成率 100%以上の地区分区（感謝状贈呈）

（地区）香南市地区 安芸地区 中央東地区 以上 3 地区

（分区）高知市（高知街、大津、五台山、御豊瀬、土佐山）安芸市（黒鳥、赤野、川北）香南市（赤岡町、野市町）南国市（瓶岩、野田、三和）四万十市（西土佐）土佐清水市（下川口）安芸（奈半利町、北川村、芸西村）中央東（大豊町、本山町）高幡（津野町）
以上、2 1 分区



【 支部長表彰受賞者 】

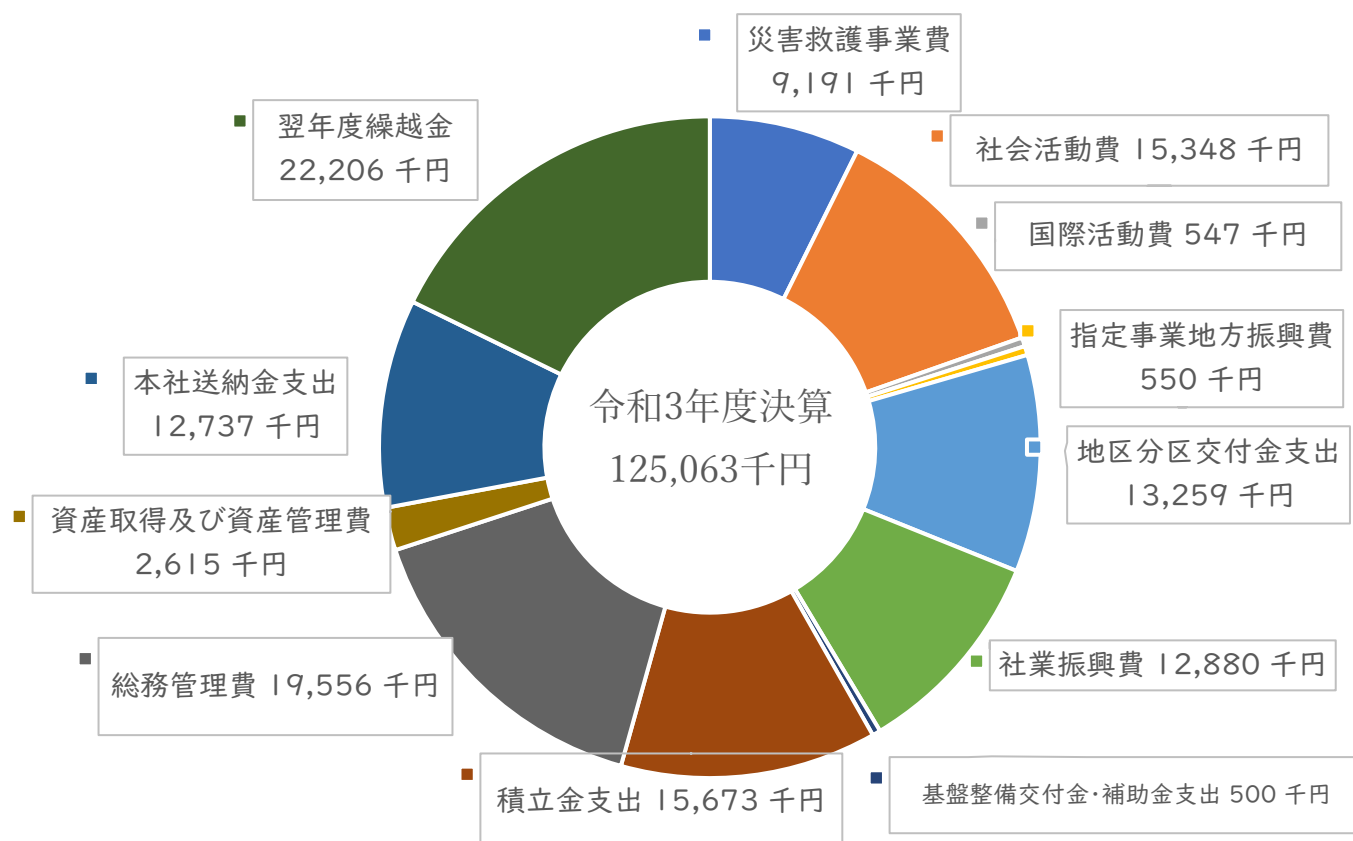
10. 決算概要

(1) 令和3年度一般会計歳入歳出決算概算書

(単位：千円)

科目	令和3年度決算額	令和2年度決算額	対前年増減
活動資金収入	86,767	91,625	△4,858
委託金等収入	255	8,882	△ 8,627
補助金及び交付金収入	5,954	4,400	1,554
繰入金収入	1,044	510	534
雑収入	3,948	2,720	1,228
前年度繰越金	27,095	18,219	8,877
歳入計	125,063	126,356	△ 1,293
災害救護事業費	9,191	8,340	851
社会活動費	15,348	22,460	△ 7,112
国際活動費	547	539	8
指定事業地方振興費	550	600	△ 50
地区分区交付金支出	13,259	13,658	△399
社業振興費	12,880	14,137	△1,257
基盤整備交付金・補助金支出	500	0	500
積立金支出	15,673	4,951	10,722
総務管理費	19,556	19,987	△ 431
資産取得及び資産管理費	2,615	1,116	1,499
本社送納金支出	12,737	13,472	△ 735
翌年度繰越金	22,206	27,096	△4,890
歳出計	125,063	126,356	△1,293

※千円未満を四捨五入しているため、歳出と歳入それぞれの各項目の合計額と表示している合計額は一致しないこと。



11.資料【 令和３年度 地区分区別活動資金実績 集計表】

地区名	目 標 額			令和３年度 実 績 額			目標額 達成率	前年度比						令和２年度 実 績 額			目標額 達成率
	一般	法人	合 計	一般	法人	合 計		一般		法人		合 計		一般	法人	合 計	
高知市	35,469,000	6,342,000	41,811,000	18,849,560	7,647,117	26,496,677	63.4%	△ 1,176,917	94.1%	△ 114,601	98.5%	△ 1,291,518	95.4%	20,026,477	7,761,718	27,788,195	66.5%
室戸市	1,867,000	186,000	2,053,000	1,167,361	248,000	1,415,361	68.9%	△ 594,996	66.2%	△ 123,000	66.8%	△ 717,996	66.3%	1,762,357	371,000	2,133,357	103.9%
安芸市	2,396,000	318,000	2,714,000	2,690,420	514,600	3,205,020	118.1%	△ 549,530	83.0%	80,400	118.5%	△ 469,130	87.2%	3,239,950	434,200	3,674,150	135.4%
香南市	3,817,000	215,000	4,032,000	4,020,000	417,500	4,437,500	110.1%	△ 36,855	99.1%	34,000	108.9%	△ 2,855	99.9%	4,056,855	383,500	4,440,355	110.1%
香美市	3,531,000	312,000	3,843,000	2,322,150	344,000	2,666,150	69.4%	116,600	105.3%	29,000	109.2%	145,600	105.8%	2,205,550	315,000	2,520,550	65.6%
南国市	5,516,000	884,000	6,400,000	5,380,537	699,896	6,080,433	95.0%	3,770	100.1%	△ 16,104	97.8%	△ 12,334	99.8%	5,376,767	716,000	6,092,767	95.2%
土佐市	3,393,000	423,000	3,816,000	2,670,236	119,481	2,789,717	73.1%	△ 35,680	98.7%	△ 4,519	96.4%	△ 40,199	98.6%	2,705,916	124,000	2,829,916	74.2%
須崎市	2,703,000	408,000	3,111,000	2,299,400	547,000	2,846,400	91.5%	△ 52,150	97.8%	176,000	147.4%	123,850	104.5%	2,351,550	371,000	2,722,550	87.5%
四万十市	4,271,000	705,000	4,976,000	2,765,450	432,000	3,197,450	64.3%	△ 151,073	94.8%	4,000	100.9%	△ 147,073	95.6%	2,916,523	428,000	3,344,523	67.2%
宿毛市	2,824,000	363,000	3,187,000	2,006,370	257,000	2,263,370	71.0%	△ 145,280	93.2%	257,000		111,720	105.2%	2,151,650	0	2,151,650	67.5%
土佐清水市	2,182,000	180,000	2,362,000	1,476,085	160,000	1,636,085	69.3%	1,720	100.1%	30,000	123.1%	31,720	102.0%	1,474,365	130,000	1,604,365	67.9%
安 芸	2,371,000	189,000	2,560,000	2,275,000	439,000	2,714,000	106.0%	△ 20,294	99.1%	83,000	123.3%	62,706	102.4%	2,295,294	356,000	2,651,294	103.6%
東洋町	376,000	36,000	412,000	183,500	0	183,500	44.5%	1,000	100.5%	0		△ 143,100	56.2%	182,500	0	326,600	79.3%
奈半利町	413,000	45,000	458,000	359,500	182,000	541,500	118.2%	13,662	104.0%	△ 4,000	97.8%	6,250	101.2%	345,838	186,000	535,250	116.9%
田野町	393,000	21,000	414,000	403,000	122,000	525,000	126.8%	△ 20,000	95.3%	10,000	108.9%	26,500	105.3%	423,000	112,000	498,500	120.4%
安田町	386,000	39,000	425,000	350,300	85,000	435,300	102.4%	△ 17,500	95.2%	67,000	472.2%	△ 75,300	85.3%	367,800	18,000	510,600	120.1%
北川村	196,000	9,000	205,000	219,400	0	219,400	107.0%	△ 6,600	97.1%	0		△ 9,600	95.8%	226,000	0	229,000	111.7%
馬路村	121,000	18,000	139,000	193,500	40,000	233,500	168.0%	△ 100	99.9%	20,000	200.0%	△ 10,800	95.6%	193,600	20,000	244,300	175.8%
芸西村	486,000	21,000	507,000	565,800	10,000	575,800	113.6%	9,244	101.7%	△ 10,000	50.0%	18,300	103.3%	556,556	20,000	557,500	110.0%
中央東	1,782,000	195,000	1,977,000	1,788,550	415,000	2,203,550	111.5%	△ 34,440	98.1%	96,000	130.1%	61,560	102.9%	1,822,990	319,000	2,141,990	108.3%
大豊町	673,500	66,000	739,500	790,000	104,000	894,000	120.9%	△ 29,600	96.4%	94,000	1040.0%	△ 73,210	92.4%	819,600	10,000	967,210	130.8%
本山町	507,500	57,000	564,500	544,450	123,000	667,450	118.2%	9,550	101.8%	5,000	104.2%	△ 15,016	97.8%	534,900	118,000	682,466	120.9%
土佐町	546,000	69,000	615,000	399,500	163,000	562,500	91.5%	△ 15,790	96.2%	2,000	101.2%	△ 32,034	94.6%	415,290	161,000	594,534	96.7%
大川村	55,000	3,000	58,000	54,600	25,000	79,600	137.2%	1,400	102.6%	△ 5,000	83.3%	△ 8,100	90.8%	53,200	30,000	87,700	151.2%
中央西	7,397,000	666,000	8,063,000	5,814,518	91,000	5,905,518	73.2%	55,091	101.0%	26,000	140.0%	81,091	101.4%	5,759,427	65,000	5,824,427	72.2%
いの町	3,271,000	295,000	3,566,000	2,116,653	61,000	2,177,653	61.1%	△ 3,223	99.8%	11,000	122.0%	125,845	106.1%	2,119,876	50,000	2,051,808	57.5%
仁淀川町	897,000	80,000	977,000	956,200	30,000	986,200	100.9%	17,799	101.9%	20,000	300.0%	23,299	102.4%	938,401	10,000	962,901	98.6%
佐川町	1,708,000	154,000	1,862,000	1,369,900	0	1,369,900	73.6%	17,050	101.3%	0		△ 107,660	92.7%	1,352,850	0	1,477,560	79.4%
越知町	822,000	74,000	896,000	776,965	0	776,965	86.7%	△ 15,385	98.1%	△ 5,000	0.0%	△ 39,735	95.1%	792,350	5,000	816,700	91.1%
日高村	699,000	63,000	762,000	594,800	0	594,800	78.1%	38,850	107.0%	0		△ 34,450	94.5%	555,950	0	629,250	82.6%
高 幡	4,823,000	318,000	5,141,000	4,123,450	165,000	4,288,450	83.4%	92,800	102.3%	125,000	412.5%	217,800	105.4%	4,030,650	40,000	4,070,650	79.2%
中土佐町	1,052,500	87,000	1,139,500	823,450	5,000	828,450	72.7%	△ 30,200	96.5%	5,000		14,500	101.8%	853,650	0	813,950	71.4%
四万十町	2,491,500	99,000	2,590,500	1,940,600	120,000	2,060,600	79.5%	167,100	109.4%	120,000		45,100	102.2%	1,773,500	0	2,015,500	77.8%
梶原町	519,000	54,000	573,000	472,400	30,000	502,400	87.7%	△ 13,400	97.2%	10,000	150.0%	59,700	113.5%	485,800	20,000	442,700	77.3%
津野町	760,000	78,000	838,000	887,000	10,000	897,000	107.0%	△ 30,700	96.7%	△ 10,000	50.0%	△ 49,900	94.7%	917,700	20,000	946,900	113.0%
幡 多	2,724,000	140,000	2,864,000	1,627,980	167,000	1,794,980	62.7%	△ 109,480	93.7%	23,000	116.0%	△ 86,480	95.4%	1,737,460	144,000	1,881,460	65.7%
黒潮町	1,647,000	91,000	1,738,000	725,700	137,000	862,700	49.6%	△ 99,100	88.0%	13,000	110.5%	△ 40,200	95.5%	824,800	124,000	902,900	52.0%
大月町	847,000	25,000	872,000	669,600	0	669,600	76.8%	△ 10,800	98.4%	0		△ 31,200	95.5%	680,400	0	700,800	80.4%
三原村	230,000	24,000	254,000	232,680	30,000	262,680	103.4%	420	100.2%	10,000	150.0%	10,420	104.1%	232,260	20,000	252,260	99.3%
地区合計	87,066,000	11,844,000	98,910,000	61,277,067	12,663,594	73,940,661	74.8%	△ 2,636,714	95.9%	705,176	105.9%	△ 1,931,538	97.5%	63,913,781	11,958,418	75,872,199	76.7%
支 部	4,000,000	590,000	4,590,000	7,521,682	5,304,292	12,825,974	279.4%	△ 2,904,439	72.1%	△ 22,084	99.6%	△ 2,926,523	81.4%	10,426,121	5,326,376	15,752,497	343.2%
【総合計】	91,066,000	12,434,000	103,500,000	68,798,749	17,967,886	86,766,635	83.8%	△ 5,541,153	92.5%	683,092	104.0%	△ 4,858,061	94.7%	74,339,902	17,284,794	91,624,696	88.5%
〈以下、参考〉																	
高額を除き・年度間調整後	91,066,000	12,434,000	103,500,000	68,798,749	17,967,886	86,766,635	83.8%	△ 2,176,946	96.9%	803,092	104.7%	△ 1,373,854	98.4%	70,975,695	17,164,794	88,140,489	85.2%